



何のために働くのか

校長

23日は勤労感謝の日です。

国民の祝日に関する法律では、この日を「勤労をたっとび、生産を祝い、国民たがいに感謝しあう日」と定めています。簡単に言うと、仕事を大事なものとして重んじ、その成果を喜び、みんなで感謝をしましょうといった感じでしょうか。また、仕事や働くこと考える日とも言えます。

さて、令和元年に発表された内閣府の「国民生活に関する世論調査」によると、18才以上の男女が考える働く目的、すなわち、「何のために働くのか」の回答は、以下の通りです。

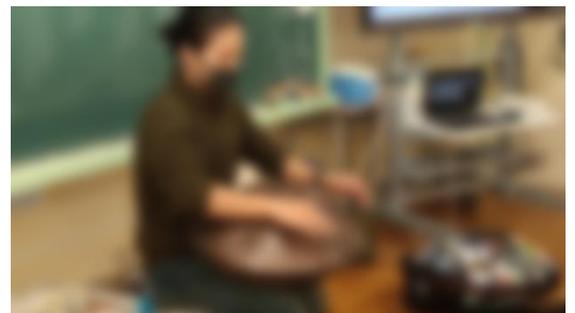
• お金を得るために働く	56.4%
• 生きがいを見つけるために働く	17.0%
• 社会の一員として務めを果たすために働く	14.5%
• 自分の才能や能力を発揮するために働く	7.9%



「お金を得るために働く」と回答した人が半数以上います。私たちが生活するためには、働いてお金を得なければいけないので納得はできます。しかし、それだけではない要因や動機付けがあり、それをこれからの将来を担う子どもたちに伝えていくことは大切なことと考えます。

学校では子どもたち一人一人の勤労観や職業観を育てようとキャリア教育に取り組んでいます。特に6年生では、総合的な学習の時間のテーマにも設定し、子どもたちは様々な追求活動をして、働くことについて多面的に考えを深めています。そして、18日（金）に講師を招いてキャリア教育の授業をしてもらいました。

今回招いたのはハンドパン製作者の時田清正さんです。ハンドパンとは、20年ほど前にスイスで生まれた楽器で、UFOのような形をし、素手で叩いて演奏します。欧米を中心に人気があり、国内での製作が希少なこの楽器の工房を、時田さんは燕市内に設立しました。「広報つばめ」や各種メディアで最近よく紹介されています。



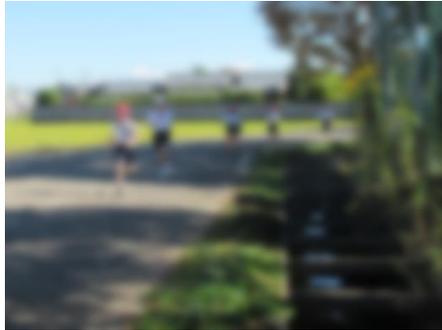
時田さんは茨城県出身の24歳。燕市の高い金属加工技術を求めて、ハンドパン製作という自分の夢を叶えるために燕市に移住してきました。ハンドパンにかかる熱い思いやこだわりを、演奏や体験活動を交えて子どもたちに語ってくれました。

授業後、校長室で時田さんに働く目的、「何のために働くのか」を聞いてみました。時田さんは言います。【長くても100年生きられない短い間に、何かを成して何かを残してつないでいけるか考えたとき、「好きという気持ちと、やる気があれば大変なことがあってもできる」ということを体現して、次の世代の人たちに夢を持ってもらえればと思いながら働いている】と。

勤労感謝の日。感謝の気持ちを表し合ったり、お祝いをしたりという家庭もあると思います。働くことについて、家族で話し合ってみるのもいいのかもしれない。

自己ベスト、やったね！ マラソン記録会

晴天の中、10月26日（水）に「マラソン記録会」を実施しました。今年度は、工事の関係で、例年とは少し違う、一部駐車場を走るコースで行いました。「記録会」ということで、タイムの伸びや自分自身のがんばりを意識して取り組み、たくさんの応援の力でほとんどの子が自己ベストのタイムを出すことができました。子どもたちのこれまでのがんばりを家庭でも認めてあげて、たっぷりとほめていただいたことと思います。



子どもたちの素敵な歌声が響きました！

11月12日（土）に文化祭を実施しました。昨年度は、感染症の状況から児童の発表は行わず、一昨年は「学習発表会」を行ったため、3年ぶりの音楽発表会の開催となりました。ウイルス禍になって、クラスでまとまって一つのことを達成しようとする機会が非常に少なくなっていたため、子どもたちにとってよい思い出となったのではないのでしょうか。



もうすぐ本格的な冬を迎えます

暦の上では、すでに冬を迎えています。これから本格的な冬がやってきます。学校でも、雪囲いをしたり、教室の暖房をつけ始めたりと、「冬の装い」になってきました。体調を崩しやすい時期です。お子さんの体調管理について今一度ご留意ください。

また、日暮れが早くなり、夕方5時となると真っ暗になってしまいます。学校では、**日が短くなる冬期は、午後4時半には家に帰るよう指導しています。**子どもたちの安全のために、ご理解とご協力をお願いします。

～ 北っ子の活躍 ～

- ★ レッツ・トライ・エコ啓発ポスターコンクール（市内4年生が参加）
最優秀賞 4年 女子 優秀賞 4年 男子
- ★ 歯と口の健康に関する図画・ポスターコンクール
銀賞 2年 女子